

# 根室地域における造林作業の軽労化に向けて

根釧東部森林管理署

## 【おこし】

根釧東部森林管理署は、我が国の森林管理署として最東端に位置しており、根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町内の森林面積の約6割にあたる10万6千haを管理しています。管轄する国有林は、世界自然遺産に登録された知床半島の南面側から武佐岳などにつながる摩周湖までの山岳林、北海道遺産に選定された格子状防風林、根室半島基部の防霧林、野付半島のトドワラ・ナラワラなどからなり、風光明媚な様々な特色を持つ森林からなっています。

## 【地域の課題】

当署の属する根室地域は水産業、酪農業が基幹産業であることから、林業従事者は少なく高齢化が進んでおり、また現場条件等も厳しいことから、短期離職が起きたり就職が敬遠されたりする状況にあります。特に炎天下での作業が多い造林作業に従事する担い手確保は、急を要する課題のひとつです。

## 【地域課題への取組】

当署では、地域に適した造林作業等の軽労化及び効率化に取り組んでおり、平成30年度に大型林業機械による地拵を行った箇所、成長が早く炭素固定能力が高く、また、野ネズミの食害に強いクリーンラーチのコンテナ苗(コンテナ苗)の根の形状が均一で活着率が高く植栽可能期間が長い(生分解性コンテナと通常のコンテナの2種類とカラマツのコンテナ苗を植栽して、翌年から春と秋の2回、

## 【今後の取組】

収集したコンテナ苗の成長量調査結果や、コンテナ苗活用による下刈回数等の省略化などの利点については、今後開催する地域林業関係者を対象とした現地勉強会で情報共有し、下刈り効率化のため、クリーンラーチのコンテナ苗の利用拡大に向けた理解と普及を図ることにしています。

また、下刈りの機械作業による軽労化に向けての取組として、下刈りの機械化移行の一番の支障である伐採跡地の根株を、大型林業機械による地拵え作業の際に一括に処理する方法や、刈払いを行わず大型林業機械の排土板で除草した場合の苗木への影響などについて、検証する試験地を今後、設定する予定です。



格子状防風林



成長量調査

コンテナ苗成長量結果表

コンテナ苗種別	調査本数	枯死本数	活着率	成長量
クリーンラーチ (生分解性)	100	5	95%	56.2cm
クリーンラーチ	100	6	94%	56.6cm
カラマツ	100	24	76%	21.9cm

※令和3年度調査結果から算出



シマフクロウ